



西新潟中央病院

NST NEWS 第10号

NST: Nutrition Support Team

発行日：2014年7月1日

担当：NST委員会

編集：栄養管理室

連絡先：内線1303

NST委員会からのお知らせ ～第6回新潟呼吸器プライマリ・ケア研究会に参加して～

6/28の土曜日、ホテルオークラにて開催された第6回新潟呼吸器プライマリ・ケア研究会に参加してきました。テーマは「**高齢者医療におけるサルコペニア対策**」で、要望演題の「運動療法とサルコペニア」、「呼吸器疾患とサルコペニア」について、当院の長谷川理学療法士と齋藤呼吸器部長が講演されました。また「高齢呼吸器疾患患者の栄養アセスメント」について、以前当院の栄養管理室長として勤務されていた永井先生（現在は新潟医療福祉大学 健康科学部・健康栄養学科准教授）も講演されていました。

特別講演には名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学分野教授の葛谷雅文先生から、「高齢者医療におけるサルコペニア・フレイル対策」について御講演をいただきました。それぞれについて一部ですが報告させていただきたいと思います。



永井准教授による講演

- ・呼吸器疾患患者の栄養状態を、目に見える形で評価することが重要。
- ・体重やアセスメントツールによるスコア化が有用。



長谷川理学療法士による講演

- ・運動療法により、呼吸機能を代償する機能を向上させることができる。
- ・筋肉を呼び起こす運動、筋肉を見守る栄養が大切。



齋藤呼吸器部長による講演

- ・呼吸器疾患患者において、栄養状態が予後に影響する。
- ・体重、BMIによる評価だけでなく、除脂肪体重(LBM、FFM)による評価が重要。



葛谷先生による特別講演

- ・まもなく訪れる超高齢化社会への日本の対応が、世界から注目されている。
- ・高齢者においては、生活習慣病よりも低栄養への対策が重視されつつある。

呼吸器疾患やサルコペニアにとどまらず、高齢者医療や在宅など、当院に求められる医療のエッセンスが詰まった研究会となりました。

(文責：栄養管理室 澤田周矢)

NST教育研修が無事終了いたしました。

5月13日(火)より実施しておりましたNST専門療法士教育研修が、6月17日をもって無事終了いたしました。ご協力ありがとうございました。次回秋季研修は10月に実施予定です。

編集後記

去年から発行を開始したNSTニュースが記念すべき第10号を迎えました。今後も皆様の役に立つ栄養の情報を届けていきたいと思っております。※来月は8月のため休刊とさせていただきます。